

探訪 チャレンジ企業 68

伝統工芸技術を組み合わせた
コラボ商品で新たな顧客を開拓
株式会社ジャンティールキタカミ：内灘町

消費不況の影響で高額品や嗜好品を扱う小売店が苦戦を強いられる中、オリジナル商品に伝統工芸の高度な技術とブランド力を組み合わせ高付加価値化を実現し、新たな顧客開拓を進める企業が、今回ご紹介する内灘町の宝飾店、株式会社ジャンティールキタカミです。

一 「恋人の聖地」で宝飾品一筋

当社は、内灘海岸とサンセットブリッジ内灘（内灘大橋）が「恋人の聖地」に認定されたことで注目を集める内灘町に店舗を構え、プライダル中心に、宝飾品や時計、メガネなどを扱う。



店舗の外観

北上徹祥社長が、今から二十五年前に外商から身を起こし、その半年後に若干五坪の小さな店舗をオープンさせたのが創業である。一時は、香林坊一〇九やボルト金沢などに出品するなど多店舗展開を図った時期もあったが、今は五年前に移転オープンした内灘本店に集約して、店頭は奥さんのあさ子氏と長男で店長の祥大氏が切り盛りする。

二 幸せを呼ぶ天使が迎える店内

西洋のお城を連想させる外観を眺めながら店内に入ると、店員が明るく出迎えてくれる。見通しの良い店内には、宝飾品を納めたショーケースが整然と配置され、程よい調光の照明のもと小気味良いBGMが流れる。店の奥に目を移すと、「ユリの花を持った天使」の画が目にとまる。当店のファンの間では、この前で写真を撮ったカップルは幸せになるとかで、創業の頃から多くのカップルを見守ってきた当店のシンボリックな存在である。

三 地域に役立つ専門店でありたい

北上社長は、「ファミリー経営で地域に役立つ専門店でありたい。専門性と信用力は他社には真似できない」といい、その具体例として、「これまでに一万組余りのカップルを送り出してきたことが、当社の大切な財産である」と、プライダルの実績を自負の念を込めて語る。



天使の画を前に北上社長とご家族

四 オリジナル商品の戦略的な展開

消費者の嗜好が変化し、節約志向が強くなるのを感じていた一年前、当地が「恋人の聖地」に認定されたこととシルバークセサリー作りの技術を持つ三男の宗憲氏が当店に従事したことを契機に、カジュアルにアクセサリーを楽しむ若い女性を主なターゲットとして、オリジナルのシルバークセサリーの展開を始めた。ハート型のトップに手作り感

のある表面処理を施し、イニシヤルを刻印するスタイルとリゾートな価格帯、そして、某恋愛旅行番組に出演した人気プロガーとタイアップして、ブログ読者層に対するネット販売の戦略が反響を呼び、今では当社を代表する商品へと成長した。当社では、ホームページの他、社長はじめスタッフによる四つのブログを運営し、ウェブ戦略を強化している。

五 伝統工芸との新たな挑戦

石川の伝統工芸を若い人達にも味わってもらいたいと、輪島塗の工房と共同で、前述のネックレスに漆塗りを施した商品の開発を進め、試作を重ねた結果、漆独特の艶のある落ち着いた雰囲気のある『WAJIMA』シリーズの商品化に成功した。

これまでのシルバークセサリーに伝統工芸技術で付加価値を高めた商品群が加わり、商品ラインナップが充実したことで、隣県から来店されるお客さんも



『天使の恋するネックレス』

六 世界展開を見据えた展望

当社には、世界に打って出るという大きな野望もある。ウェブ戦略と『WAJIMA』シリーズの商品化の成功により、所得水準が上がり、市場としての魅力が増す中国への進出も視野に入ってきたと、次なる飛躍に向けて意気込んでいる。

(お問い合わせ)

株式会社ジャンティールキタカミ

〒920-0027

河北郡内灘町

鶴ヶ丘三二一三八一三

TEL

〇七六一三三八一七七七〇

URL: <http://www.geniik.com>

(取材・執筆員 津田昌彦)

経営支援課 西村道博

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。

増え、店頭の活性化という好循環も生んでいる。



アクセサリー製作の様子